

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

情報連絡事項	頁
1 令和5年度第1回足立区再犯防止推進協議会の実施報告について・・・	2
2 視覚障がい者の就労促進を目的としたマッサージ事業の実施月追加について・・・	5
3 「出張きこえの相談」における令和5年度実績及び令和6年度実施予定 について・・・	6
4 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス単価について・・・	8
5 『ぱく増し』月間（令和6年2月）の実施結果について・・・	10
6 大谷田区営住宅建替・福祉事務所併設第2回地域住民説明会の開催報告 について・・・	14
7 「第32回足立区ボランティアまつり」の開催について・・・	16

(福祉部)

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

件名	令和5年度第1回足立区再犯防止推進協議会の実施報告について			
所管部課名	福祉部 福祉管理課			
内容	第1回足立区再犯防止推進協議会（以下「協議会」という）を開催したので、以下のとおり報告する。			
	1 日時 令和6年3月22日（金）午後2時から4時			
	2 場所 庁議室			
	3 委員 「別紙 名簿」のとおり			
	4 議事・内容等			
	足立区 の 取 組 み	議事	内容・意見等	
		足立区再犯防止推進計画について	内容 意見等	計画の概要を説明 協議会が立ち上がったことは非常に喜ばしいことである。今後の発展に期待したい。
		令和5年の刑法犯認知状況と区の施策について	内容 意見等	① 令和5年の刑法犯認知状況について説明 ② 「住まいの防犯対策補助金一覧」等の防犯施策の説明 犯罪予防は重要である。防犯の施策の拡充に期待したい。
		福祉まるごと相談課の設置について	内容 意見等	福祉まるごと相談課の設置と、取り組む事業の概要を説明 ① 広く窓口の存在を周知し、出所者を含む複合的な悩みを持った相談者の受け皿となってほしい。 ② 出所後の生活に不安がある人にとって「とても暖かい」窓口と感じる。
		東京保護観察所	内容	① 第2次再犯防止推進計画（国）の概要説明。 ② 第二次東京都再犯防止推進計画（案）の概要説明。 ③ 東京保護観察所の取り組みについて。
東京拘置所 ハローワーク 警察署 保護司会 更生保護女性会 民生・児童委員協議会 更生保護法人		内容	各団体の取り組みと、再犯防止事業への想いについて説明があった。特に更生保護3団体からは以下の様な評価・意見があった。 ① 意見や現状を語れる場が出来たことは非常に有難い。 ② 高齢や疾病などの問題を抱えた入所者への対応は更生保護法人だけでは困難なため、ぜひ、他団体との連携対応をしていきたい。	

	議事	内容・意見等	
会長 所見	東京未来大学 出口教授	内容	① 団体の意見や現状を知ることができた貴重な機会であった。まずは初回であり、関係性を構築できたところである。今後の発展に期待する。 ② 各団体の所掌事務を互いに理解しあい、援助が必要な対象者に適切にサービスが行き渡るような関係性を構築していけると良い。

5 今後の方針

- (1) 取り締まり機関、矯正機関、また、その後の更生機関が一堂に会する全国的にも貴重な会議体となった。この会議体において、出所者・再犯者の声を聴き、各機関の意見・助言を持ち寄ることによって、出席団体全体の再犯防止に関する事業のレベルアップを図っていく。
- (2) 出所者・再犯者がどこの団体に相談に訪れても、適切な支援団体へ繋げられるように、令和6年度にフローチャートを作成する。
- (3) 出所者・再犯者が相談しやすい環境を構築するため、警察署、拘置所、更生施設と連携を密にし、福祉まるごと相談課につながれるよう、各関係団体窓口福祉まるごと相談課の案内チラシを配付する。

令和5年度 第1回 足立区再犯防止推進協議会 名簿

順不同・敬称略

区分	団体名等	氏名	種別
委員 (会長)	東京未来大学 こども心理学部 学部長 (専門分野: 犯罪心理学)	デグチ ヤスユキ 出口 保行	学識経験者
委員	東京保護観察所 統括保護観察官	ウエノガワ ヨシタカ 上野川 喜隆	行政機関
委員	東京拘置所 分類部 首席矯正処遇官	シマムラ つばさ 島村 つばさ	行政機関
委員	ハローワーク足立 雇用開発部長	フジオカ シゲキ 藤岡 茂樹	行政機関
委員	警視庁 千住警察署 生活安全課 課長代理	ノガミ タカシ 野上 貴志	行政機関
委員	警視庁 西新井警察署 生活安全課 課長代理	クサノ ヨウヘイ 草野 陽平	行政機関
委員	警視庁 竹の塚警察署 生活安全課 課長代理	テラマチ タクヤ 寺町 拓也	行政機関
委員	警視庁 綾瀬警察署 生活安全課 課長代理	オオノ ユウイチ 大野 雄一	行政機関
委員	足立区 保護司会 会長	ヨロミソ マサオ 横溝 正雄	関係団体
委員	足立区 更生保護女性会 会長	コンビロ エツコ 近藤 悦子	関係団体
委員	足立区 民生・児童委員協議会 会長職務代理	サカタ マコト 坂田 誠	関係団体
委員	足立区 更生保護法人 真哉会 常務理事 兼 補導主任	カドヤ カナコ 角谷 奏子	関係団体
委員	足立区 更生保護法人 静修会 施設長	フクダ シングル 福田 茂	関係団体
委員	足立区 更生保護法人 清和会 施設長	シマダ コウイチロウ 島田 耕一朗	関係団体
委員	足立区 副区長 (福祉部を担当事項とする者)	ハセガワ カツミ 長谷川 勝美	区職員
委員	足立区 あだち未来支援室長	クスヤマ ヨシユキ 楠山 慶之	区職員
委員	足立区 危機管理部長	モテギ トシナオ 茂木 聡直	区職員
委員	足立区 危機管理部犯罪抑止担当課長	エンドウ シンイチ 遠藤 慎一	区職員
委員	足立区 地域のちから推進部長 地域調整課長	アイダ ヤスユキ 會田 康之	区職員
委員	足立区 福祉部長	ナカムラ アキヨシ 中村 明慶	区職員
委員	足立区 衛生部長	ババ ユウコ 馬場 優子	区職員
委員	足立区 都市建設部建築室長	タナカ ヤスオ 田中 靖夫	区職員
委員	足立区 教育委員会 教育指導部長	イワマツ トモコ 岩松 朋子	区職員
委員	足立区 教育委員会 子ども家庭部長	カミトオノ ヨウコ 上遠野 葉子	区職員
委員	足立区 教育委員会 こども支援センターげんき 教育相談課長	モリタ ミチコ 森田 路子	区職員

厚生委員会情報連絡

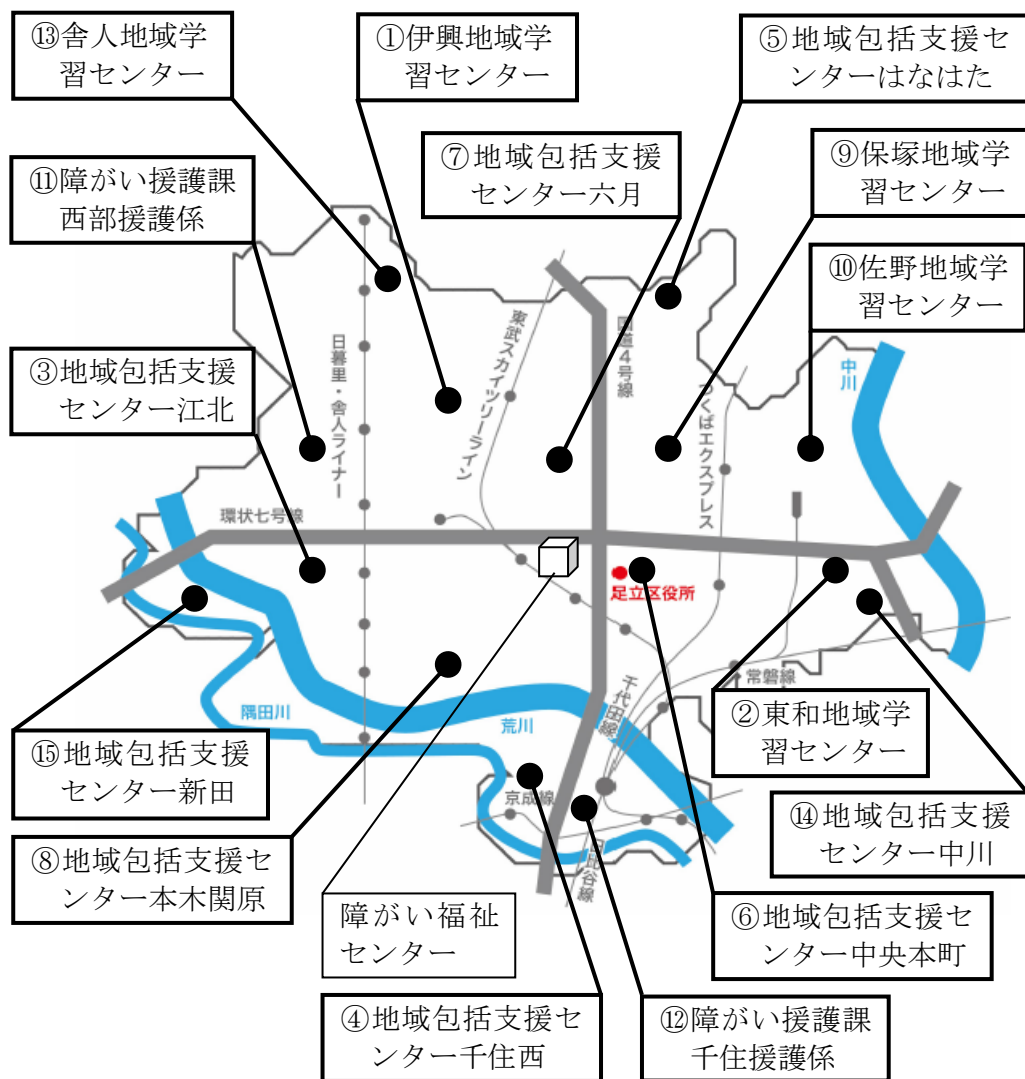
令和6年4月18日

件名	視覚障がい者の就労促進を目的としたマッサージ事業の実施月追加について															
所管部課名	福祉部 障がい福祉課															
内容	<p>視覚障がい者の就労促進を目的としたマッサージ事業について、令和6年度からは、これまで実施していない1月と8月も追加で実施し、視覚障がい者の就労の一層の促進を図る。</p> <p>1 マッサージ事業について</p> <p>(1) 内容 「視覚障がい者が就労する場の確保」と「高齢者の健康保持と福祉の増進」を目的に、73歳以上の区民対象の無料マッサージを実施</p> <p>(2) 実施者 足立区三療師協議会（視覚障がい者が所属）</p> <p>(3) 実施会場 ①竹の塚障がい福祉館 ②勤労福祉会館</p> <p>(4) 申込方法 区広報で周知した期間内にお問い合わせコールあだちに申込みいただいた方の中から、抽選で利用者を決定 ※ 利用決定者からキャンセルの連絡を受けた場合は、次の順位の方に個別にご連絡し、より多くの方が利用できるよう工夫している。</p> <p>2 実施月の追加について 申込者が増加する状況(※1)にあり、また実施者の受入れ体制が確保できたため、令和6年度から、実施月に1月と8月を追加する。</p> <p>【参考】</p> <table border="1" data-bbox="459 1279 1434 1686"> <thead> <tr> <th></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施月</td> <td>1・4・8月を除く毎月</td> <td>4月を除く毎月</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>年36回 (2会場×2回/月×9カ月)</td> <td>年44回 (2会場×2回/月×11カ月)</td> </tr> <tr> <td>申込み可能回数</td> <td>年18回(※2) (2回/月×9カ月)</td> <td>年22回(※2) (2回/月×11カ月)</td> </tr> <tr> <td>受入人数</td> <td>1,872人 〔竹の塚 56人×18回=1,008人〕 〔勤福 48人×18回= 864人〕</td> <td>2,288人 〔竹の塚 56人×22回=1,232人〕 〔勤福 48人×22回=1,056人〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 申込者の増加による混乱を避けるため、令和5年11月実施分から、利用申込みの受付を先着順から抽選に変更した。抽選に変更した後の当選の倍率は約1.33倍（4人に3人が当選）である。</p> <p>※2 申込み時、各回の中で2会場のどちらかを選択いただいているため、申込みの最大回数は年間の実施回数の半分となる。</p> <p>3 今後の方針 実施月の拡大について、「実施会場で配付するチラシによる案内」「区広報・区HPによる周知」を行う。</p>		変更前	変更後	実施月	1・4・8月を除く毎月	4月を除く毎月	実施回数	年36回 (2会場×2回/月×9カ月)	年44回 (2会場×2回/月×11カ月)	申込み可能回数	年18回(※2) (2回/月×9カ月)	年22回(※2) (2回/月×11カ月)	受入人数	1,872人 〔竹の塚 56人×18回=1,008人〕 〔勤福 48人×18回= 864人〕	2,288人 〔竹の塚 56人×22回=1,232人〕 〔勤福 48人×22回=1,056人〕
	変更前	変更後														
実施月	1・4・8月を除く毎月	4月を除く毎月														
実施回数	年36回 (2会場×2回/月×9カ月)	年44回 (2会場×2回/月×11カ月)														
申込み可能回数	年18回(※2) (2回/月×9カ月)	年22回(※2) (2回/月×11カ月)														
受入人数	1,872人 〔竹の塚 56人×18回=1,008人〕 〔勤福 48人×18回= 864人〕	2,288人 〔竹の塚 56人×22回=1,232人〕 〔勤福 48人×22回=1,056人〕														

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

件名	「出張きこえの相談」における令和5年度実績及び令和6年度実施予定について									
所管部課名	福祉部 障がい福祉センター									
内容	障がい福祉センター「きこえの相談」にお越しできない方への、地域包括支援センター等で実施する「出張きこえの相談」について報告する。									
	1 令和5年度実績									
	(1) 相談件数（毎月2か所、1回4名まで） (人)									
		件数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		申込数	8	4	8	5	2	6	2	35
		来場数	7	5	7	6	1	5	2	33
	(2) 来場数の少ない1月期の今後の取り組み									
	1月期は年始のため少なかったと思われる。次年度は、早期から地域包括支援センターと連携して申込数を増やしていく。									
	2 令和6年度の実施予定									
	(1) 原則第2・4火曜日、午後1時～3時、1回3名まで、1人30分間程度（予約制）									
	(2) 開催日、会場（予定）									
		開催日	会場			連携するハウカツ		地図		
		4/9	伊興地域学習センター			伊興		①		
		4/23	東和地域学習センター			東和		②		
		5/14	地域包括支援センター江北			江北		③		
		5/28	〃 千住西			千住西		④		
	6/11	〃 はなはた			はなはた		⑤			
	6/25	〃 中央本町			中央本町		⑥			
（熱中症対策のため、夏季期間を除く）										
	10/1	地域包括支援センター六月			六月		⑦			
	10/29	〃 本木関原			本木関原		⑧			
	11/12	伊興地域学習センター			伊興		①			
	11/26	保塚地域学習センター			一ツ家		⑨			
	12/10	佐野地域学習センター			佐野		⑩			
	12/24	障がい援護課西部援護係			鹿浜		⑪			
	1/14	障がい援護課千住援護係			千寿の郷、千住本町、日の出		⑫			
	1/28	舎人地域学習センター			入谷		⑬			
	2/18	地域包括支援センター中川			中川		⑭			
	2/25	〃 新田			新田		⑮			
	3/11	〃 はなはた			はなはた		⑤			
	3/25	保塚地域学習センター			一ツ家		⑨			



(3) 申込方法

ア 障がい福祉センターに下記のいずれかの方法で申し込み

(ア) 電話 5681-0132

(イ) FAX 5681-0137

(ウ) オンライン申請システム (二次元コード: 右)

イ 会場が地域包括支援センターの場合は、直接

会場に電話かFAXでも可



3 今後の方針

区ホームページのほか、地域包括支援センター、認定補聴器専門店(千住、綾瀬、竹の塚の3店)、足立区医師会(耳鼻咽喉科)とも連携して周知していく。

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

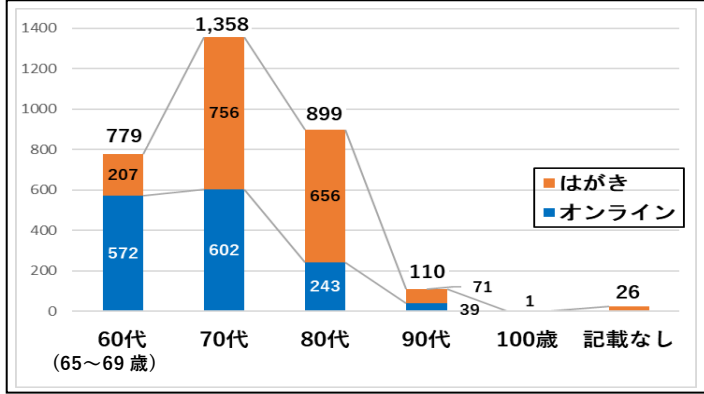
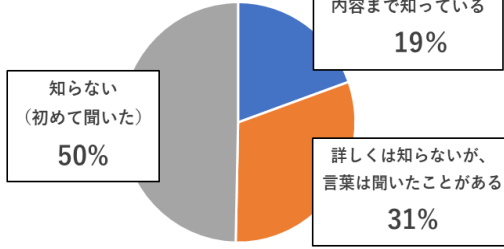
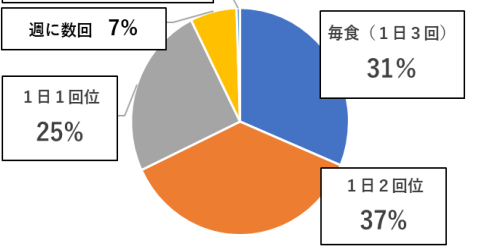
件名	介護予防・日常生活支援総合事業のサービス単価について																											
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課																											
内容	<p>第9期の総合事業におけるサービス単価について、下記のとおり報告する。</p> <p>1 単価の改定 国が示している介護予防・日常生活支援総合事業の算定構造イメージをもとにサービス単価について改定した。</p> <p>2 改定の時期 令和6年4月1日付改定 (介護保険サービス単価改定時期と同様)</p> <p>3 改定の考え方 (1) 積算根拠 国が示す基本単位数の増減率をもとに算出 ア 訪問型サービス (8期) 1, 176単位→(9期) 1, 176単位 ※変更なし イ 通所型サービス (8期) 1, 672単位→(9期) 1, 798単位…7.54%増 (2) 介護職員の処遇改善分は令和6年6月施行</p> <p>4 改定内容 (1) 訪問型サービス</p> <table border="1" data-bbox="336 1288 1513 1720"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和6年3月まで</th> <th colspan="2">令和6年4月から (第9期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供時間</td> <td colspan="2">20分以上 60分未満</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">利用者単価 (1割負担)</td> <td>身体介護あり 1回 312円</td> <td>参考 5回利用月 月 1,556円</td> </tr> <tr> <td>身体介護 なし 1回 282円</td> <td>参考 5回利用月 月 1,408円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 通所型サービス</p> <table border="1" data-bbox="336 1765 1513 2004"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">2時間以上 5時間未満</th> <th colspan="2">2時間以上 5時間未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者単価 (1割負担)</td> <td>1回 423円</td> <td>参考 5回利用月 月 2,115円</td> <td>1回 455円 (+32円)</td> <td>参考 5回利用月 月 2,273円 (+158円)</td> </tr> </tbody> </table>				令和6年3月まで		令和6年4月から (第9期)		提供時間	20分以上 60分未満		変更なし		利用者単価 (1割負担)	身体介護あり 1回 312円	参考 5回利用月 月 1,556円	身体介護 なし 1回 282円	参考 5回利用月 月 1,408円		2時間以上 5時間未満		2時間以上 5時間未満		利用者単価 (1割負担)	1回 423円	参考 5回利用月 月 2,115円	1回 455円 (+32円)	参考 5回利用月 月 2,273円 (+158円)
	令和6年3月まで		令和6年4月から (第9期)																									
提供時間	20分以上 60分未満		変更なし																									
利用者単価 (1割負担)	身体介護あり 1回 312円	参考 5回利用月 月 1,556円																										
	身体介護 なし 1回 282円	参考 5回利用月 月 1,408円																										
	2時間以上 5時間未満		2時間以上 5時間未満																									
利用者単価 (1割負担)	1回 423円	参考 5回利用月 月 2,115円	1回 455円 (+32円)	参考 5回利用月 月 2,273円 (+158円)																								

5 関係者への周知

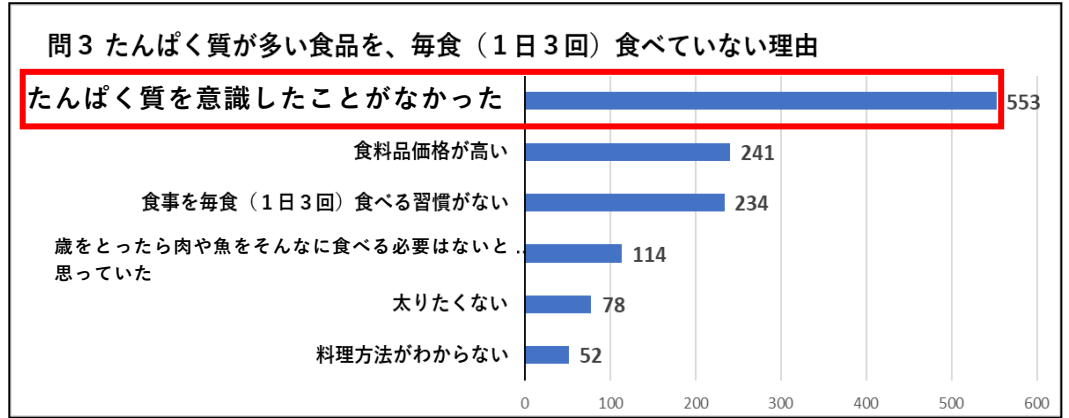
- (1) 区内介護事業者に対して、改定内容について周知し、利用者への説明や事務手続きを依頼した。
- (2) 事業者向けの制度説明会で、報酬改定の内容を説明した。

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

件名	『ぱく増し』月間（令和6年2月）の実施結果について																																																								
所管部課	福祉部 高齢者施策推進室 高齢者地域包括ケア推進課																																																								
内容	<p>『ぱく増し』（65歳からのたんぱく増し生活～肉も野菜も食べよう～）事業を広く周知するため、2月の周知強化月間に下記の取り組みを実施した。その結果を報告する。</p> <p>1 ぱく増し月間キャンペーン「アンケートに答えてぱく増し商品を当てよう！」実施結果【65歳以上の方対象】</p> <p>(1) 回答数（重複除く）</p> <table border="1" data-bbox="427 786 1134 1016"> <thead> <tr> <th>回答方法</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オンライン（二次元コード読込）</td> <td>1,456</td> </tr> <tr> <td>専用はがき（切手は自己負担）</td> <td>1,717</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,173</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 回答方法（年代別内訳）</p>  <table border="1" data-bbox="427 1120 1134 1512"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>オンライン</th> <th>はがき</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60代 (65~69歳)</td> <td>572</td> <td>207</td> <td>779</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>602</td> <td>756</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>80代</td> <td>243</td> <td>656</td> <td>899</td> </tr> <tr> <td>90代</td> <td>39</td> <td>71</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>100歳</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>記載なし</td> <td>0</td> <td>26</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) アンケート結果</p> <p>ア 「ぱく増し」認知度及びたんぱく質を多く含む食品（肉・魚・卵・大豆製品等）の摂取頻度</p> <div data-bbox="427 1697 965 2033"> <p>問1 「ぱく増し」事業を知っていますか</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>認知度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らない（初めて聞いた）</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>19%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="973 1697 1492 2033"> <p>問2 たんぱく質の摂取頻度</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>摂取頻度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほとんど食べない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>週に数回</td> <td>7%</td> </tr> <tr> <td>1日1回位</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>1日2回位</td> <td>37%</td> </tr> <tr> <td>毎食（1日3回）</td> <td>31%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	回答方法	回答数	オンライン（二次元コード読込）	1,456	専用はがき（切手は自己負担）	1,717	合計	3,173	年代	オンライン	はがき	合計	60代 (65~69歳)	572	207	779	70代	602	756	1,358	80代	243	656	899	90代	39	71	110	100歳	1	0	1	記載なし	0	26	26	認知度	割合	知らない（初めて聞いた）	50%	詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	31%	内容まで知っている	19%	摂取頻度	割合	ほとんど食べない	0%	週に数回	7%	1日1回位	25%	1日2回位	37%	毎食（1日3回）	31%
回答方法	回答数																																																								
オンライン（二次元コード読込）	1,456																																																								
専用はがき（切手は自己負担）	1,717																																																								
合計	3,173																																																								
年代	オンライン	はがき	合計																																																						
60代 (65~69歳)	572	207	779																																																						
70代	602	756	1,358																																																						
80代	243	656	899																																																						
90代	39	71	110																																																						
100歳	1	0	1																																																						
記載なし	0	26	26																																																						
認知度	割合																																																								
知らない（初めて聞いた）	50%																																																								
詳しくは知らないが、言葉は聞いたことがある	31%																																																								
内容まで知っている	19%																																																								
摂取頻度	割合																																																								
ほとんど食べない	0%																																																								
週に数回	7%																																																								
1日1回位	25%																																																								
1日2回位	37%																																																								
毎食（1日3回）	31%																																																								

イ たんぱく質が多い食品を、毎食（1日3回）食べていない理由



2 普及啓発品（手ぬぐい）の配付【65歳以上の方対象】

あだち広報（1/25号）の発行に合わせ、地域包括支援センター（以下、ホウカツ）にて上記（1）のアンケートに回答した方に手ぬぐいとリーフレットを合わせて配付した。3月からはホウカツの実態把握訪問時に配付中。

3 スーパーとの連携

スーパー15店舗（イトーヨーカドー2店舗、ヨーク3店舗、ベルクス10店舗）との連携

- (1) 肉、魚、卵、大豆製品等のたんぱく質を多く含む食品コーナーにのぼり設置
- (2) たんぱく質が20g程度とれる弁当等にはばく増しシールを貼付（一部スーパー）
- (3) 月間ポスター掲示、はがき付き応募用紙の配架



写真1・2 スーパー店頭



写真3 肉売り場



写真4 お弁当へのシール貼付

(4) 試食イベント実施 2月17日(土) 10時~15時
イトーヨーカドー(アリオ西新井店)の協力により、「ぱく増し」メニューの試食コーナーの実施

試食配付204食・キャンペーン説明161人・事業説明115人
(重複あり)



写真5 試食(豆腐バーの肉巻き)



写真6 試食コーナー(アリオ西新井)

4 食品メーカーとの連携

(1) コラボレシピの開発

ア 味の素(鍋キューブを使ったぱく増しレシピ2品)



写真7 鶏とキャベツのうま塩バター煮



写真8 鮭と豆腐・キャベツのキムチレンジ蒸し

イ キューピー(ドレッシングを使ったぱく増しレシピ2品)



写真9 グリルチキンの黒酢たまねぎサラダ



写真10 豚こまの焼肉サラダ

(2) 区内スーパー売場等にて、コラボレシピのPOPやのぼり等を掲出



写真11 味の素掲出(一例)



写真12 キューピー掲出(一例)

5 レシピ発信

区ホームページのぱく増しレシピの充実

クックパッド足立区公式キッチン「東京あだち食堂」にレシピ参入



6 区内関連施設・関連団体との連携

(1) 地域学習センター(12施設)

ミニコミ紙にぱく増し記事掲載、ぱく増し料理講座(一部)

(2) 図書館(15施設)

ミニコミ紙「かけはし」にてぱく増し特集を発行(3月)

ぱく増し関連書籍のコーナー設置(舎人図書館等)



写真 13

舎人図書館

ぱく増しコーナー

(3) 住区センター

ア 応募用紙配架

イ 食べてフレイル予防栄養講座(10会場:青井、東伊興、梅島千住柳町、鹿浜いきいき館、鹿浜、綾瀬、南花畑、千住あずま、西伊興)にて栄養士がキャンペーン周知

(4) 応募用紙配架施設

区民事務所(16施設)、鹿浜いきいき館、悠々会館、総合スポーツセンター、駅スタンド等

(5) 応募用紙配付団体

民生委員、健康づくり推進員、友愛クラブ役員、配食サービス事業者(14店 配付数2,200部)

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

件名	大谷田区営住宅建替・福祉事務所併設第2回地域住民説明会の開催報告について
所管部課名	福祉部 足立福祉事務所 東部福祉課、都市建設部 建設室 住宅課
内容	<p>令和10年度に完成予定の大谷田区営住宅に東部福祉課を併設する計画の進捗状況について、近隣住民を対象とした、第2回地域住民説明会を開催したので報告する。</p> <p>1 目的</p> <p>(1) 大谷田区営住宅集約建替事業の流れ、今後のスケジュールの周知 (2) 区営住宅の1・2階に足立福祉事務所東部福祉課併設の周知 移転先は別紙地図参照</p> <p>2 日時と場所</p> <p>(1) 令和6年2月 9日(金) 19時～20時 (2) 令和6年2月10日(土) 10時～11時 いずれも会場は大谷田谷中住区センター(1階集会室)</p> <p>3 対象世帯数及び参加人数</p> <p>(1) 開催周知世帯数 近隣の約500世帯 (2) 参加人数 合計5世帯5人 (3) 周知方法 開催10日前に対象世帯にポスティングを実施</p> <p>4 参加者の主な意見</p> <p>(1) 大谷田区営住宅集約建替事業について 質問① 中川氾濫時の水害避難場所としての機能を備えているのか。 回答① (住宅課) 区営住宅空き部屋を使い垂直避難に充てる予定。ただし、戸数が少なく、毎年場所が変更となる。 (東部福祉課) 福祉課の2階には災害時の備蓄倉庫を設ける予定。避難所的な役割を設けるか、災害対策課を含めて今後検討。 質問② 令和7年度の解体工事の時期は前期、後期、いつ頃の予定か。 回答② (住宅課) 解体工事の設計を令和6年度実施。その後解体を発注するので時期が判明次第お知らせする。</p> <p>(2) 足立福祉事務所東部福祉課の併設について 要望・意見はなし。</p>



新築予定地
 大谷田二丁目アパート土地
 足立区大谷田 2 - 9・10

大谷田谷中住区センター

区営AP①

区営AP②

区営AP③

綾瀬警察署

大谷田住区センター

中川公園

**東綾瀬公園
サービスセンター**

現
 足立福祉事務所東部福祉課
 足立区東綾瀬 1 - 26 - 2

- 区営AP① 大谷田二丁目アパート
- 区営AP② 大谷田二丁目第2アパート
- 区営AP③ 大谷田二丁目第3アパート

厚生委員会情報連絡

令和6年4月18日

件名	「第32回足立区ボランティアまつり」の開催について
所管部課名	足立区社会福祉協議会、福祉部 福祉管理課
内容	<p>ボランティアグループの活動発表や説明等を行うことで、広く区民に対してボランティア活動への理解を深め、参加を促進することを目的に、ボランティアまつりを開催する。</p> <p>1 実施日時 (1) 令和6年5月19日(日) 午前9時30分～午後3時</p> <p>2 会場 (1) 足立区役所アトリウム・正面広場</p> <p>3 内容 (1) 開会セレモニー (2) 各団体発表(舞台・ブース) (3) 模擬店販売等</p> <p>4 参加団体 区内ボランティア団体・障がい者団体等31団体(うち舞台発表は7団体) ※ ボランティア登録団体数 64団体(令和6年1月1日現在)</p> <p>5 参加資格 (1) ボランティアセンターに登録している団体 (2) 地域貢献活動等を実施している地元企業及び関係団体</p>